

故 井上嘉幸博士の略歴と業績

A Brief History and Bibliography of the Late Dr. Yoshiyuki INOUE

日本家屋害虫学会

井上嘉幸博士は1926年（大正15年）、井上富蔵氏の二男として東京都八王子市でご出生。1951年、東京大学農学部林学科を経て同大学の大学院へ進学されました。1958年から1978年まで三共株式会社に勤務され、木材の防虫・防黴等の研究をされました。1978年に筑波大学教授に就任され、1989年に同大学を定年退官されるまで木材保存のご研究を続行されました。大学では熱心に教育活動をされる一方、大学の運営に尽力されました。ご退官で筑波大学名誉教授となられ、同年には（財）北里環境科学センターで研究を続行されましたが、惜しくも1994年12月22日、上咽喉癌のため東京女子医科大学病院で逝去されました。享年68歳。生前、日本木材学会賞、日本防菌防黴学会功労賞を受賞されました。

博士は1989年に日本家屋害虫学会々長にご就任、他界されるまで会長の任にあたられ、学会々則の改正を始め諸規則の明文化、家屋害虫事典の企画編纂など学会の発展に多大な貢献をされました。博士は木材保存研究の第一人者として優れた業績を残されましたが、豊かな学識と温厚なお人柄については青山経雄筑波大学名誉教授も弔辞の中で述べておられます。博士の抜群の記憶力と文学的素養は他界される直前に内田老鶴圃から出版された井上嘉幸編著「炭屋そだち」の中でも発揮されています。

研究業績目録

1961

すまいの防虫対策．主婦と経済 2：20.

モウソウチク材に対するカビ発生防止試験について．高峰年報 13：196.

1962

水溶性木材防腐剤に関する研究 第9報：弗素-クロム-ヒ素-4,6ジニトロオルトクレゾール系木材防腐剤による処理材の性能．東大農演習林報告 (56)：349.（芝本共著）

水溶性木材防腐剤に関する研究．第10報：防腐木柱の防腐効力の一試験法 東大農演習林報告 (56)：381.（芝本共著）

水溶性木材防腐剤に関する研究 第11報：Wolman 塩水溶液の湿潤性と処理木材の耐久性．東大農演習林報告 (57)：153.（芝本共著）

水溶性木材防腐剤に関する研究 第12報：加圧式処理法における注入薬剤量．東大農演習林報告 (57)：179.（芝本共著）

水溶性木材防腐剤に関する研究 第21報：防腐効力試験の結果(2)．木材学会 8：108.（芝本共著）

水溶性木材防腐剤に関する研究 第22報：木材中における無機系防腐剤の定着．木材学会 8：162.（芝本共著）

水溶性木材防腐剤に関する研究 第23報：薬剤水溶液の電位滴定．木材学会 8：204.（芝本共著）

水溶性木材防腐剤に関する研究 第24報：水口面からの浸透性について．木材学会 8：208.（芝本、浜口共著）

市販木材保存剤の浸透性．高峰年報 14：149.（小西共著）

竹材の防虫カビ. 木材工業 17:31.

1963

水溶性木材防腐剤に関する研究 第25報: Microbioassay による浸透性の測定. 木材学会 9:35. (芝本共著)

日本における木材保存学の研究動向. 木材工業 18:2. (芝本共著)

石英砂培地を用いた木材腐朽試験. 三共研究所年報 15:160. (小西共著)

1964

杭試験による木材保存剤の防蟻防腐指数について. 三共研究所年報 16:93.

1965

木材保存剤としての Dimethyl Sulfoxide の性能. 三共研究所年報 17:154. (西村共著)

木材の予備防菌防虫剤の効力試験法. 木材工業 20:574. (芝本共著)

1966

しろあり—とくにその生化学—に関して. しろあり(5):20-25

ラワン合板の防虫に関する研究. 三共研究報文集 18:123. (小西, 西村共著)

1967

木材防炎剤に関する研究(第1報)木材の着火性について. 三共研究報文集 19:104. (栗田共著)

最近のしろあり防除剤について(1). しろあり(6):7-10.

しろあり防除剤の毒性. しろあり(7):16-23

木材保存分野における国際動向. 木材工業 22:189.

1968

木材腐朽菌の酵素活性におよぼす培養基組成の影響. 三共研究報文集 20:130. (小西, 相馬共著)

水溶性防腐防蟻剤の定着に関する考察. しろあり(9):2-8.

諸外国における木材劣化防止剤(1). 木材工業 23:126.

諸外国における木材劣化防止剤(2). 木材工業 23:171.

木材の防腐処理. 木材工業 23:340.

1969

防炎剤に関する研究(第2報)防腐防虫処理剤の示差熱分析. 三共研究報文集 21:143. (栗田共著)

木材昆虫, 特にしろありに対する物質の生理活性. しろあり(11):19-24.

木材防腐剤の作用機構(1) 発育阻害および防腐効力の発見. 木材工業 24:269.

木材防腐剤の作用機構(2) 防腐剤の作用および腐朽菌の抵抗性. 木材工業 24:156.

1970

木材防蟻防腐剤の劣化. しろあり(12):31-35.

1971

- カワラタケによるリグニンの分解（第1報）菌体外に産出する粗酵素について．木材学会 17：209-213.
（小西共著）
- カワラタケによるリグニンの分解（第2報）菌体外酵素の精製およびその性質．木材学会 17：214-220.
（小西共著）
- カワラタケによるリグニンの分解（第3報）ラッカーゼ型酵素のリグニンに対する作用機構．木材学会
17：255-262.
- 木材防腐剤．しろあり(14)：9-15.
- 木材保存分野の現状と問題点．木材工業 26：249, 349, 339.
- カワラタケの産生するラッカーゼ．木材工業 26：73.

1972

- 木材保存分野の現状と問題点．木材工業 27：184, 430.
- 木質建材用防腐防虫薬剤．建築界 21：54.
- カワラタケのラッカーゼによるペンタクロロフェノールの不活性化機構．木材学会 18：463-469.（小
西共著）
- カワラタケによるリグニンの分解（第4報）リグニンのフェニルプロパン結合様式に及ぼすラッカーゼ
型酵素の影響．木材学会 18：571-576.（小西，樋口共著）

1973

- 防蟻防虫剤．建築年鑑：241

1974

- カワラタケによるリグニンの分解（第5報）ラッカーゼによるリグニンのカルボキシル基の生成（英文）．
木材学会 20：26-30.（小西，樋口共著）
- カワラタケのラッカーゼの特性．木材学会 20：45-47.（小西共著）

1976

- 木材の生物劣化と抽出成分—低毒性防腐防虫剤開発の手がかりの一つとして—．化学と生物 14：
714-715.

1977

- 木材保存剤の毒性(1)，ジクロフルアニドの毒性．木材保存 (9)：11-16.（小西，西村，相場共著）

1978

- 木材保存剤の毒性(2)，8-オキシキノリンとくにその銅塩の毒性．木材保存 (10)：30-36.
- 講座 木材の防虫(10)：防虫剤今後の木材防虫剤．木材工業 33：86-89.

1980

- 湿潤地で生産される木材の特性と劣化防止に関する研究．筑波大昭和54年度特定研究報告(1)：1-22.
（黒田共著）
- 輸入木材の防腐防虫処理法の開発(1) 筑波大昭和54年度学内プロジェクト研究報告：97-122.（黒田，

片山, 高木, 石井共著)
防菌防黴処理材のシステム化. 防菌防黴 8:7-12.

1981

輸入木材の防腐防虫処理法の開発(2). 筑波大昭和55年度学内プロジェクト研究報告:69-77. (黒田, 片山, 金, 松山共著)
認定防除薬剤. しろあり(3):2-21.
家屋害虫防除剤. 家屋害虫(9・10):5-25.
ウルシおよびカシューの塗料成分. 塗装工学 16:338-344. (橋本共著)
最近の塗料用防かび剤 塗装工学 16:48-59.

1982

迎賓館における木材腐朽度の測定. 文化財の虫菌害 (4):2-6.
On the Damage Caused by Termites and Termite Control Chemiacs in Japan. House & Household Insect Pect(11-12):1-16.
木材の腐朽. 文化財の虫菌害 (3):28-37.
シロアリ防除に関する安全対策. しろあり(48):2-10.
＜巻頭言＞腐朽阻止技術に対する意欲的取り組みを. しろあり(51):1-2.

1983

最近の防菌防黴剤. 防菌防黴 11:207-223.
塗料用防菌剤. 防菌防黴 11:157-169.
最近の防腐防黴剤. 木材工業 38:113-128.
日本における最近の殺菌剤. 木材保存 (24):3-17. (坂井, 柳共著)
生育環境を異にする木材の微生物に対する抵抗性 第10回日本防菌防黴学会講演要旨:27-28.
Studies on Wood Preservatives, (2) Evaluation of Metallic Compounds, especially Copper Compounds, to Prevent Decay of Wood. Report of Special Research Project on Tropical Agr. Res., 2:95-103. (Inoue *et al*)

1984

木材の結露と菌類の発生に関する研究(1). 第11回日本防菌防黴学会講演要旨:35-36. (井上他)
社寺床下の含水率と微生物劣化. 古文化財の科学 (29):1-8 (柳共著)
しろあり防除剤の問題点. しろあり(56):3-19. (坂井, 黒田共著)
塗料および接着剤用防菌防黴剤の効力試験法. 防菌防黴 12:187-194.
木材防蟻防腐剤による亜鉛メッキ金属の腐食試験. 家屋害虫(19・20):8-13. (坂井, 黒田共著)
＜巻頭言＞しろあり防除における環境問題の重要性. しろあり(57):1-2.

1985

有機スズ化合物の防腐効力と無処理腐朽材のケモルミネッセンス. 第12回日本防菌防黴学会講演要旨:13-104. (井上他)
木材防腐防虫剤の界面電気化学的研究(第1報). 防菌防黴 13:389-394. (金, 黒田共著)
木材防腐防虫剤の界面電気化学的研究(第2報). 防菌防黴 13:445-451. (金, 黒田共著)

木材の抗蟻性に関する研究. 家屋害虫 (23・24) : 1-6. (坂井, 金共著)

Studies on Wood Preservatives (3). Trop. Agr. Res. Tsukuba Univ., 3 : 111-120. (Inoue *et al*)

昭和59年度新住宅開発プロジェクト研究開発委託事業研究成果報告書, II 住宅躯体材料の耐久性向上技術の開発, (1)高耐久性躯体材料の開発 : 1-255. (通商産業)

1986

ジフェニルエーテルの合成. 木材学会 32 : 285-288. (黒田共著)

木材防腐剤の浸透性について. 第13回日本防菌防黴学会講演要旨 : 106-107. (柳, 黒田共著)

第四アンモニウム塩のセルロースに対する吸着性. 第36回日本木材学会講演要旨 : 32. (高橋, 黒田共著)

処理木材の表面電荷密度について. 第13回日本防菌防黴学会講演要旨 : 33. (金, 黒田共著)

＜講座＞シロアリ防除薬剤のはなし(1)―コリンエステラーゼを中心とした薬剤の毒性と作用―. しろあり (66) : 8-16.

1987

木材防腐剤の浸透性試験方法について. 防菌防黴 15 : 3-10. (柳, 黒田共著)

＜講座＞シロアリ防除薬剤のはなし(2)―防除施工における安全対策―. しろあり (67) : 22-33.

＜講座＞シロアリ防除薬剤のはなし(3)―薬剤の作用機構を中心として―. しろあり (68) : 30-39.

＜講座＞シロアリ防除薬剤のはなし(4)―有機リン剤およびカーバメイト剤によるコリンエステラーゼの阻害―. しろあり (69) : 23-35.

＜講座＞シロアリ防除薬剤のはなし(5)―建築材料に及ぼすシロアリ防除薬剤の影響―. しろあり (70) : 21-31.

住戸内のカビ対策に関する研究報告書 (昭和61年度住宅・都市整備公団受託研究). (財)住宅部品開発センター : 2, 4, 55-64.

セルロースに対する吸着性. 第14回日本防菌防黴学会講演要旨 : 73-74. (高橋, 黒田共著)

1988

Evaluation of Nitrostyrenes, Antioxidants and Miscellaneous Organobromocompounds to Prevent the Decay of Wood. Rept. Spec. Res. Proj. Tropical Agr. Res., Tsukuba Univ., (5) : 157-166. (Inoue *et al*)

土壌処理剤に関する研究 (第1報) クロルデンの分析方法と経年変化について. 家屋害虫 (35・36) : 26-41. (佐藤, 黒田共著)

文化財に発生する菌類の発育抑制に関する基礎的研究. 文化財の虫菌害 (16) : 18-33 (岩村, 黒田共著)

＜講座＞シロアリ防除薬剤のはなし(6)―コリンエステラーゼ活性値について―. しろあり (71) : 27-37.

＜講座＞シロアリ防除薬剤のはなし(7)―環境安全性, とくに水と土と土壌処理剤―. しろあり (72) : 44-59.

＜講座＞シロアリ防除薬剤のはなし(8)―シロアリ防除薬剤の開発, 認定および開発―. しろあり (73) : 27-46.

最近の防菌防黴剤に関する展望. 木材保存 14 : 257-267.

野外における木材防虫防腐塗料の性能試験. 第38回日本木材学会講演要旨 : 232. (山本, 深沢共著)

有機ヨード系木材防腐剤の光安定性. 第38回日本木材学会講演要旨 : 37. (内海, 黒田共著)

新シロアリ防除剤と工法の特性. 1988年6月27日 日本工業新聞

炭素系材料の抗菌活性について. 第15回日本防菌防黴学会講演要旨 : 39. (井上他)

森 八郎博士の研究業績. 家屋害虫 (35・36) : 3-10.

1989

- 野外における木材防腐防虫塗料の性能試験. 筑波大演報 (5):11-47. (山本, 深沢共著)
- 炭素系材料の応用によるシロアリ防除(第1報) 木材腐朽に対する生育阻害. 家屋害虫 11:75-100.
(市川, 黒田共著)
- 出土木材の化学組成に関する研究. 文化財の虫菌害 (18):26-38. (玉井共著)
- Synthesis of Diphenyl Ethers(Ⅱ). Mokuzai Gakkai 35:640-648. (with Kuroda)
- リグニンの熱分解ガスクロマトグラフィー. 第34回リグニン化学討論会講演要旨:77-80 (井上他)
- 土壌処理剤に関する研究(第2報) 薬剤の半減期と移行性. 家屋害虫 11:17-26. (佐藤, 黒田共著)
- 研究者養成の現状と課題. 筑波フォーラム:97-100.
- 第四アンモニウム塩系薬剤の木材防腐効力 第16回日本防菌防黴学会講演要旨:29. (井上他共著)
- シロアリ防除剤クロルデンの代替品. 化学技術誌 MOL 27:28-34.

1990

- Analysis of Lignin by Pyrolysis. J. Anal. & Appl. Pyrolysis 18:59-69. (with Kuroda)
- Studies on Wood Preservatives (6). Bull. Forest exp. Tsukuba Univ., (6):45-53. (Inoue *et al*)
- 木材保護における一無・二少・三多. 先端技術の窓—出版ベンチャー 7(1):9.
- 野外における木材防腐効力試験について. 第17回日本防菌防黴学会大会講演要旨:101.
- 防菌防虫工学45年. 筑波大学農林工学系報告 (3):4-23.
- 小さな怪獣シロアリ. 筑波大学農林工学系報告 (3):37-50.
- 炭素系材料の応用によるシロアリ防除(第2報) 木材腐朽に対する炭素系材料の作用機構. 家屋害虫 12:73-106. (市川共著)
- 木材腐朽菌に対するテルペン系化合物の抗菌性. 文化財の虫菌害 (20):12-15. (加藤共著)
- 防腐防蟻の考え方 第33回日本しろあり対策協会全国大会シンポジウム要旨:1-13.

1991

- Composition of Urshiol and Cardanol from Japanese Lacquer Tree and Related Origins. IRG/WP/3667:1-15.
- Measurement of Electrokinetic Potential to Evaluate Adsorption of Quaternary Ammonium Salts. IRG/WP/3667:1-12. (Inoue *et al*)
- 最近の防菌防カビ剤. 木材保存 17:54-58.
- 防腐防蟻の考え方. しろあり (83):20-23.
- 家屋害虫防除剤(I). 家屋害虫 13:97-107.
- 防菌防蟻処理した鳥居の耐久性. 文化財の虫菌害 (21):5-11.
- 木造住宅の防蟻防腐処理. ハウジングトリビューン (31):54-59.
- 殺虫剤の連合作用に関する研究(1). 家屋害虫 13:12-21.
- 木材用防腐防蟻剤の配合および効力に関する考え方. 文化財の虫菌害 (22):3-23.
- IRGに参加して. しろあり (85):18-21.
- 防菌防カビ剤. 化学工業日報 1991年3月1日.
- 木材用防菌防黴剤の配合に対する考え方と製剤について. 第19回防菌防黴剤研究部会講演要旨:1-10.
- 木材防腐効力試験における腐朽の促進. 第18回日本防菌防黴学会講演要旨:145. (鈴木共著)
- 木と緑を守る. 大島新聞 1991年9月14日.

1992

木とみどりを守る. きよらじま (4):122-135.

防菌・防カビ剤の技術開発動向. 化学工業日報 1992年3月3日.

Studies on the Chemical Component Unearthed Wood. 2nd Int. Conf. on Biodet of Cultural Property,
Abstract:59.

低毒性防黴剤の製剤化. 第19回日本防菌防黴学会講演要旨:184-185.

土壌の構成分布および透水性の測定法. しろあり (8):13-17.

木材防腐効力を考える際の基礎理論. 第22回日本防菌防黴剤研究部会講演要旨:15-22.

木材の微生物劣化. マテリアルライフ 4(2):63-70.

木材防腐防虫剤の毒性に関する研究(第1報)―目および皮膚に対する刺激性―. 家屋害虫 14:69-74.

第五福竜丸の腐朽調査. 文化財の虫菌害 (23):13-17.

家屋害虫防除剤(2). 家屋害虫 14:42-59.

防蟻防腐の現状と技術開発. ハウジングトリビューン (38):33-36.

最近のしろあり防除薬剤. (社)日本しろあり対策協会研修テキスト:1-15.

防蟻防腐施工における臭気について. しろあり (90):11-15.

第4アンモニウム塩の吸着性と木材防腐効力. 第19回日本防菌防黴学会講演要旨:176. (井上他共著)

カビ発育木材によるコンクリートの硬化不良. 文化財の虫菌害 (24):42-49.

シロアリ防除薬剤. 日刊工業新聞 1992年4月20日.

シロアリと人間. 家屋害虫だより (1):1-2.

1993

第4アンモニウム塩の木材に対する吸着性. 防菌防黴 21:11-16. (高橋, 黒田, 山口共著)

元会長芝本武夫先生のご逝去を悼む. しろあり (91):44-95.

製造物責任法について. (社)日本しろあり対策協会:1-15.

製造物責任制度について. しろあり (92):26-29.

シロアリ防除剤と環境. しろあり (94):3-15.

木材防腐防虫剤の毒性に関する研究(第2報)―防腐防虫処理木材の安全性―. 家屋害虫 15:89-93.

木材防腐防虫剤の毒性に関する研究(第3報)―急性経口および経皮毒性試験―. 家屋害虫 15:89-93.

第4アンモニウム塩の木材腐朽菌に対する生育抑制および腐朽防止効力. 防菌防黴 21:195-200. (高橋,
黒田, 山口共著)

有機ヨウ素系防黴剤に関する研究(2) 防菌防黴 21:391-396. (井上他共著)

しろあり防除薬剤の有用性の解析を進めよう. 家屋害虫だより (3):6-8.

1994

木材保存薬剤と環境. 木材学会 40:397-904.

殺蟻効力試験法に関する研究. 家屋害虫 16:7-12.

著 書

木材保護化学 535pp. 内田老鶴圃新社(1969)

木材の劣化と防止法 419pp. 森北出版(1972)

建材年鑑―わが国建材工業の全貌―(共著) 275pp. (社)日本建設材料協会(1972)

- 建材年鑑—激動の建材・設備機器産業の実態と展望—(共著). 407pp. (社)日本建設材料協会 (1974)
- 建材年鑑—建材産業に見る不況期の実相と展開の兆し—(共著). 439pp. (社)日本建設材料協会 (1975)
- Synthetic Pyrethroid (共著). 450pp. American Chemical Society (1977)
- 食品工業における洗滌・殺菌技術の実際と品質管理 (共著). 459pp. 日本衛生技術研究会 (1978)
- 木材工学辞典 (共著). 975pp. 工業出版 (1982)
- 塗料添加剤の製法・処方・開発 (共著). (株)シーエムシー (1983)
- Pesticide Chemistry Vol. 1 (共著). 383pp. Pergamon Press (1983)
- 家屋害虫 (共著). 355pp. 井上書院 (1984)
- 水と土と緑のはなし (編著). 218pp. 技報堂 (1985)
- 木材保存の歩みと展望 (共著). 297pp. (社)日本木材保存協会 (1985)
- 防菌防黴ハンドブック (共著). 1263pp. 技報堂 (1986)
- 防菌防黴剤事典 (編著). 367pp. 日本防菌防黴学会 (1986)
- 塗料添加剤の製法・処方・開発 (共著). 271pp. (株)シーエムシー (1986)
- 文化財の虫菌害と保存対策 (共著). 388pp. (財)文化財虫菌害研究所 (1987)
- 木造建築物の腐朽判断と補修方法 (共著). 105pp. (社)日本しろあり対策協会 (1988)
- 家屋害虫(2) (共著). 461pp. 井上書院 (1988)
- ファインケミカルレビュー '89 (共著). 245pp. (株)シーエムシー (1988)
- 日本しろあり対策協会創立30年誌 (共著). 179pp. (社)日本しろあり対策協会 (1988)
- 防菌防黴の技術と市場 (編・監). 247pp. (株)シーエムシー (1989)
- 抗菌防臭 (共著). 351pp. 繊維社 (1989)
- 長持ちする木のはなし. 163pp. (株)イセブ (1990)
- 文化財虫菌害防除概説 (共著). 190pp. (財)文化財虫菌害研究所 (1991)
- 防菌防黴剤と快適環境 (編著). (株)シーエムシー (1992)
- しろありおよび腐朽防除施工の基礎知識 (共著). (社)日本しろあり対策協会 (1991年度版～1994年度版)
- 炭屋そだち一回想の井上隆吉一 (編著). 262+15pp. 内田老鶴圃 (1994)
- 家屋害虫事典 (編著). 468pp. 井上書院 (1995)

(付記)

井上嘉幸博士の逝去後、日本家屋害虫学会で、この研究業績目録を作成した。論文登載誌が多岐にわたり目録から欠落している論文が予想される。目録の作成に当って三共株式会社の加藤寛也氏、筑波大学の黒田健一教授、(財)北里環境科学センターの皆様のご協力を頂いた。記して感謝したい。